

# 令和6年度 病虫害防除情報

令和6年6月6日

発表：福島県病虫害防除所

**果樹カメムシ類の誘殺数が多い状況です！  
今後の果実被害に注意してください！**

- 1 対象作物：果樹類
- 2 病虫害：果樹カメムシ類
- 3 対象地域：全域

## 発生状況等

- (1) フェロモントラップ調査における4月5半旬～5月6半旬の果樹カメムシ類の越冬世代の誘殺数は、8地点中6地点で、平年と比較して3～15倍と多い状況です（別紙1）。また、5月下旬に誘殺数が増加している地点もあり、越冬世代の果樹園への飛来が6月以降も続くことが予想されます。
- (2) 農林事務所や農家防除員からの情報によると、特に、県北地方（山間部）、県南地方、いわき地方でのカメムシ類の飛来が多くみられる状況です。
- (3) 5月の巡回調査において、果樹カメムシ類のモモ・ナシ園地への飛来や果実被害が確認されており（写真1、写真2）、今後も果実被害の拡大が懸念されます。

## 防除対策

- (1) 園地への飛来を確認した場合は、農作物病虫害防除指針や地域の防除暦を参考に早急に薬剤（有機リン剤、合成ピレスロイド剤、ネオニコチノイド剤）を散布しましょう。その際は、薬剤の使用濃度、収穫前日数などの農薬使用基準を遵守してください。
- (2) 果樹カメムシ類は移動性が高いため、防除効果を高めるため、できるだけ地域で一斉防除を行いましょう。また、合成ピレスロイド剤や一部のネオニコチノイド剤は、天敵に影響があるため、ハダニ類やカイガラムシ類などの多発を引き起こすことがあるので注意しましょう。
- (3) 果樹園周囲のキリ、クワ、クズ、ハギなどはカメムシ類の食草となり、次世代の発生に結びつくので、これらを除去するなど適切な管理を行いましょう。
- (4) 夏季に発生する次世代成虫の動向についても、園地の飛来状況や当防除所の定期予報等を参考に警戒してください。



写真1 モモ葉上のクサギカメムシ  
(令和6年5月1日撮影)



写真2 ナシ果実上のチャバネアオカメムシ  
(令和6年5月29日 果樹研究所撮影)

●本情報に関する質問は、福島県農業総合センター安全農業推進部発生予察課（病虫害防除所）まで御連絡ください。

TEL 024-958-1709

FAX 024-958-1727

別紙1 果樹カメムシ類のフェロモントラップにおける誘殺状況（半旬別）  
 ※誘殺数はチャバネアオカメムシ、クサギカメムシの合計値（浜通りのみツヤアオカメムシを含む）

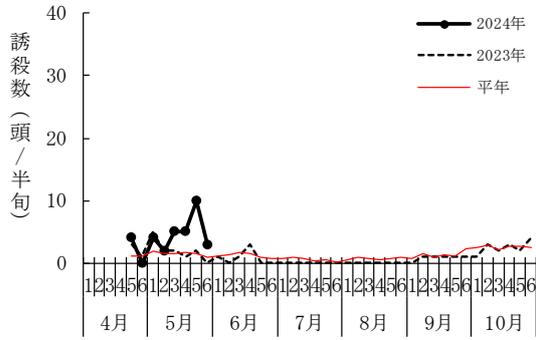


図1 果樹カメムシ類の誘殺状況(福島市大笹生)

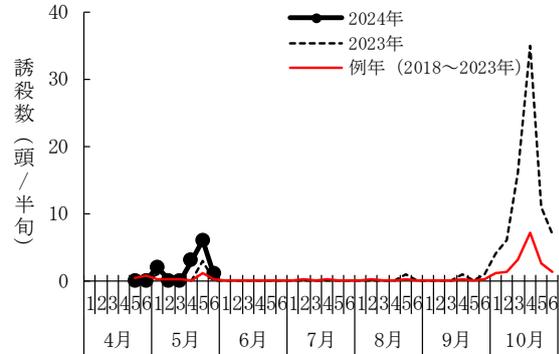


図2 果樹カメムシ類の誘殺状況(福島市飯坂町)

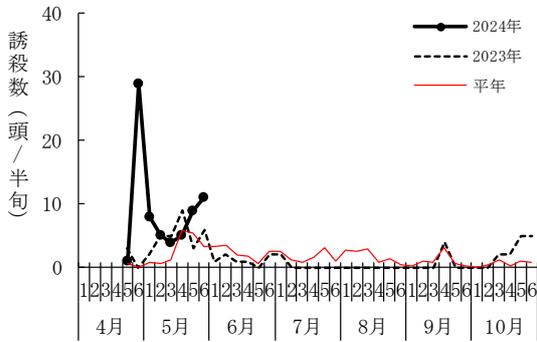


図3 果樹カメムシ類の誘殺状況(国見町)

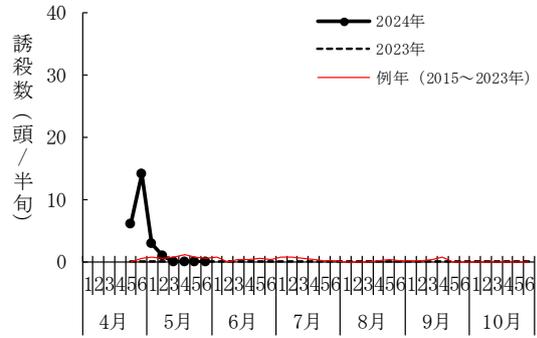


図4 果樹カメムシ類の誘殺状況(郡山市)

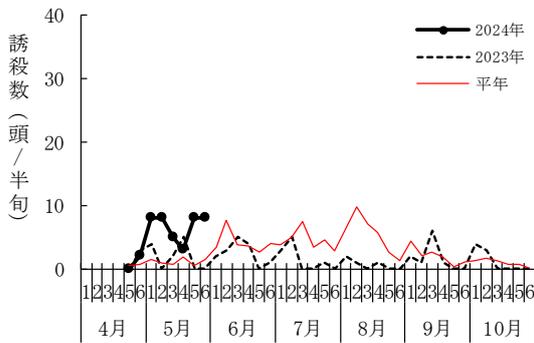


図5 果樹カメムシ類の誘殺状況(鏡石町)

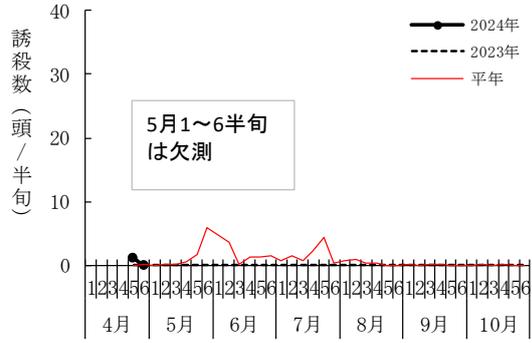


図6 果樹カメムシ類の誘殺状況(会津坂下町)

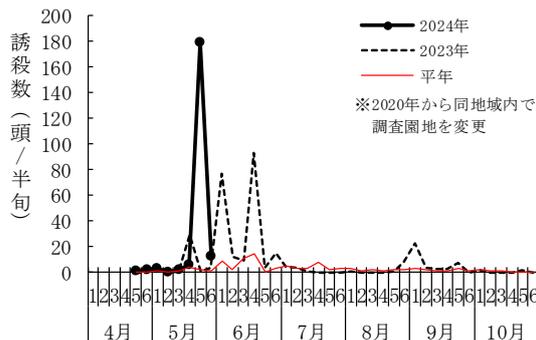


図7 果樹カメムシ類の誘殺状況(相馬市)

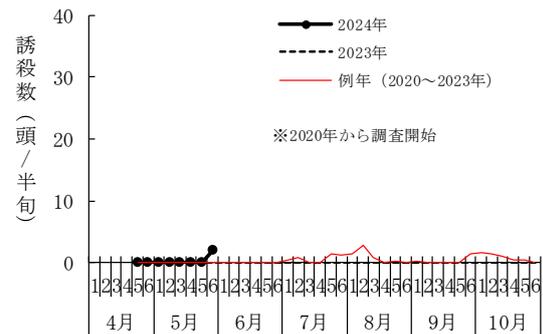


図8 果樹カメムシ類の誘殺状況(いわき市)